

環境調査結果のお知らせ

平成31年1月25日10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は12.9～15.4℃で、前回調査時(H30.12.25)と比較して全層で2.2～4.4℃下降していました。

塩分は30.2～32.2で、前回調査時と比較して表層から1m層及び底層で0.2～1.8上昇し、2m層で0.5下降していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は5.8～8.1mg/lで、前回調査時と比較して表層及び2m層で0.2～0.7mg/l増加し、底層で1.0mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は3.5mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.12.25)	
		今回調査	差(今回-前回)
0m	12.9	15.1	▲ 2.2
1m	13.2	16.4	▲ 3.2
2m	13.6	18.0	▲ 4.4
B-1	15.4	18.2	▲ 2.8

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.12.25)	
		今回調査	差(今回-前回)
0m	30.2	28.4	▲ 1.8
1m	30.4	29.3	▲ 1.1
2m	31.1	31.6	▲ 0.5
B-1	32.2	32.0	▲ 0.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.12.25)	
		今回調査	差(今回-前回)
0m	8.1	7.4	▲ 0.7
1m	7.3	7.1	▲ 0.2
2m	7.1	6.9	▲ 0.2
B-1	5.8	6.8	▲ 1.0



表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.9	3.8
透明度	3.5	3.0

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステイナム	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	3	0	120
1	0	0	3	0	40
2	0	0	1	0	20

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000～50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>